

# SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION  
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2016 New Year Edition

<http://japan.studyabroadfoundation.org>

## 米国を代表する国際教育機関IESアブロードと提携

The Study Abroad Foundation (以下、省略して SAF) は、このたび米国を代表する国際教育機関である IES Abroad (以下、省略して IES) との提携関係を結びました。この新たなパートナーシップにより、SAF はメンバー大学と長く培ってきた絆に加えて、質量ともに学生に対する貢献を増していくことになります。

IES はシカゴに本部を構え、1950 年に創設された米国を代表する非営利国際教育機関です。65 年もの長きにわたり、世界各国の高等教育機関とのパートナーシップを推進し、学生たちへ留学及びインターンシップの機会を提供し続けてきました。米国の学生



写真左から: SAF バイス・プレジデント Ms. Carol Carmody, SAF 新会長 Dr. Mary Dwyer, SAF プレジデント Prof. John Belcher (米国シカゴ, IES Abroad 本部にて)

より、この分野を先導してきました。地球の将来を担う次世代の学生たちがグローバルに繋がっていくことを使命として、彼らが秀逸な学習・異文化環境の中で生活し勉強する機会を創出する活動に取り組んでいます。

今回の提携を通じて、SAF は固有ブランドのもと独立単体の組織のまま運営されます。IES のプレジデント&CEO である Dr. メアリー・ドワイヤーが、

SAF の会長として新役員会に参加します。SAF プレジデントの Prof. ジョン・ベルチャーはそのままの職位で役員会にとどまります。SAF の確立した国際大学ネットワークの関係に変わりはなく、両者の特徴を活かしてより広範な学習機会と教育サービスを提供する留学促進母体が展開されることになります。

SAF の会長として新役員会に参加します。SAF プレジデントの Prof. ジョン・ベルチャーはそのままの職位で役員会にとどまります。SAF の確立した国際大学ネットワークの関係に変わりはなく、両者の特徴を活かしてより広範な学習機会と教育サービスを提供する留学促進母体が展開されることになります。

### IES アブロード・スナップショット

IES アブロード・コース数	1,200 以上
年間学生登録数	約 6,000 名
拠点	22 か国、30 都市以上
卒業生数	110,000 名以上
コンソーシアム	高等教育機関 225 以上
国際間パートナー大学	90 以上
奨学金	US\$3,000,000.00 規模

### 業界標準に先駆けた取り組み事例

- 教育の質保証を点検する公式プログラムを開始
- 米国と国際間とを結ぶファカルティ・セミナーの実施
- スタディ・アブロード・プログラムを評価する教育ツール IES アブロード MAP を開発
- 留学の効果に関する 50 年長期スパンの卒業生調査を実施
- 年次リスク診断監査を実施し、倫理規定を設置
- 留学に関する改善プログラム
- The Forum on Education Abroad の設立

### SAF 新会長 Dr. Mary Dwyer (メアリー・ドワイヤー博士)

IES アブロード (Institute for the International Education of Students) プレジデント&CEO。

ミュンヘン・ライオンカレッジにて英文・社会科学学士号、イリノイ大学シカゴ校にて教育におけるリーダーシップ修士号、公共政策分析博士号を取得。サウス大学スワニーより民法法名譽博士号を授受。前職ではイリノイ大学シカゴ校 (UIC) 薬学部の教授会に 18 年間所属し、研究エグゼクティブ副総長を務める。大学院レベルの保健政策、組織変革、リーダーシップといった専門で教鞭をとり、複数の R&D 部門や研究センターを担当。

2001 年に Forum on Education Abroad の創設メンバーの一人となり、2006 年から 2012 年にかけては同組織の委員長を務める。2005 年には超党派大統領・議会諮問機関であるアブラハム・リンカーン留学委員会へ議会からの任命を受け、ここで米国学生の海外への留学を増やす政策立案に携わる。

過去 25 年間にわたり、The World Health Organization (WHO)、The Kellogg Foundation、世界各国の教育厚生省など、全世界 20 か国以上の新興国でのコンサルティング活動を続ける。

### SAF 大学ネットワーク (ホスト大学)

SAF の多国間大学ネットワークを活用して、アジアの加盟大学は以下の名門大学へ学生を派遣することができます。SAF の学生の多くは留学先大学の単位を取得し、在籍大学に認定してもらうことで、SAF での留学期間も含めて 4 年間で大学を卒業しています。

<p><b>アメリカ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アーカンソー大学</li> <li>アメリカン大学</li> <li>アラバマ大学</li> <li>アリゾナ州立大学</li> <li>アリゾナ大学</li> <li>オレゴン大学</li> <li>カリフォルニア州立大学</li> <li>サンマルコス校</li> <li>カリフォルニア大学</li> <li>サンタバーバラ校</li> <li>カリフォルニア大学</li> <li>パークレー校</li> <li>エクステンション</li> <li>カリフォルニア大学</li> </ul>	<p>リバーサイド校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カリフォルニア大学</li> <li>ロサンゼルス校</li> <li>コロラド州立大学</li> <li>コロラド大学 ボルダー校</li> <li>コロンビア大学</li> <li>ゴンザガ大学</li> <li>サンノゼ州立大学</li> <li>サンフランシスコ州立大学</li> <li>ジョンズホプキンス大学</li> <li>ニューヨーク州立大学</li> <li>バツファロー校</li> <li>ネバダ大学 リノ校</li> <li>ハワイ大学 ヒロ校</li> </ul>	<p>ハワイ大学 マノア校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バンダービルト大学</li> <li>ペンシルバニア大学</li> <li>ミシガン州立大学</li> <li>ミシシッピ大学</li> <li>ミネソタ大学</li> <li>モンタナ州立大学</li> <li>モンタナ大学</li> <li>ユタ大学</li> <li>ワシントン大学*</li> </ul> <p><b>カナダ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カルガリー大学*</li> <li>トロント大学*</li> <li>ピクトリア大学</li> </ul>	<p><b>イギリス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェストミンスター大学</li> <li>エジンバラ大学</li> <li>オックスフォード大学</li> <li>セイント・アンズ・カレッジ</li> <li>グラスゴー大学</li> <li>ブリストル大学</li> <li>マンチェスター大学</li> <li>ロンドン芸術大学</li> <li>ロンドン大学</li> <li>クイーン・メアリー校</li> <li>ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン</li> </ul>	<p><b>アイルランド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイルランド国立大学</li> <li>ダブリン校*</li> <li>リムリック大学</li> <li><b>オーストラリア</b></li> <li>ウーロンゴン大学</li> <li>クイーンズランド大学</li> <li>ニューサウスウェールズ大学</li> <li><b>ニュージーランド</b></li> <li>オタゴ大学</li> <li><b>ヨーロッパ</b></li> <li>フランス: アンジェ・カトリック大学*</li> <li>スイス: ローザンヌ大学</li> </ul>	<p>ドイツ: ライプツィヒ大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スペイン: レオン大学</li> <li>* 聴力強化プログラムのみ提供となります。</li> </ul> <p><b>アカデミック・インターンシップ (学部授業+インターンシップ) 提供機関</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカン大学</li> <li>ワシントン・セメスター・プログラム</li> <li>ミシガン州立大学</li> <li>アメリカン・セメスター・インターンシップ・プログラム</li> <li>FIE ロンドン・インターンシップ・プログラム</li> </ul>
---	--	--	--	--	--



同志社大学  
国際センター所長  
西納 春雄 教授

## 大きな成長の機会をより多くの学生たちに与えるために

同志社大学は建学の理念の一つに「国際主義」を掲げ、高等教育レベルでの国際交流と国際舞台で活躍できる人材の育成に長年努めてきました。2009年に「グローバル30事業」の採択、2012年に「グローバル人材育成推進事業(タイプA)」の採択を受けてからは、それ以前から進めていた海外の大学との協定締結をさらに拡大し、国際化に向けた組織体制を強化し、日本語・日本文化教育を充実し、海外からの留学生の受け入れを促進してきました。この間、主として留学生を対象とした全ての科目を英語のみで受講し卒業可能なコース(ILA)、

留学を卒業要件に組み込んだ2学部の新設(GC、GR)なども進めてきました。2016年度からは英語の教養科目を提供する組織(CGE)を開設して、留学生と日本人学生が共習できる環境を充実する予定です。

この間、学部や大学院における教育・研究の国際化も進み、本学の学部と海外の大学の学部を結んだ短期・長期の留学プログラムや、インターンシップ・プログラムが充実し、大学院のダブル・ディグリープログラムも、特に理工学部のTIMEメンバーシップ獲得などによって大きく進展しています。また、2013年からは、留学の前提となる高度な英語力の養成を促進するためのコース(I.C.T.)を開設しました。教養の英語科目の全学レベルでの習熟度別クラス編成も2016年度には完成します。今後は英語力の

全体的な底上げを行い、海外に送り出すことのできる学生をさらに増やしたいと考えています。

このような文脈の中で、本学は2014年度SAFと協定を結び、2015年度よりSAFを通じて学生たちの「認定留学」が可能になりました。第三者機関と連携することによって、学生のニーズに応じた留学機関の選択、新たなプログラムの開発、最新の留学情報の獲得など、留学のプログラムの多様化と充実が期待できます。「国際通用性」や「就職に有利」などの功利主義的な言葉で誘うのではなく、異国の言葉を学び、異質な文化の中に身を置き、世界と自分を見つめ直し、学問的・人間的に大きく成長する機会を、できるだけ多くの学生たちに与えたいと考えます。

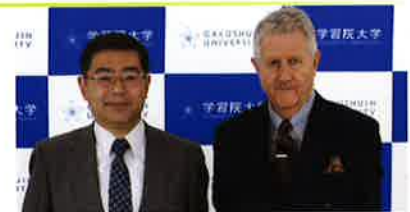
## 大学のニーズに合わせたSAFの取り組み

SAFでは、定期的に学内を訪問し、留学説明会や個別相談を行っていくのが基本モデルです。学生が出願した後は出発前オリエンテーションを中心に、また留学中は本部と連携した危機管理を含む学生サポートへと業務の流れは続いていきます。そしてメンバー大学との連携の中で、より総合的に留学プログラム開発、学生アドバイジング、留学準備、危機管理を、大学のニーズに合わせてカスタマイズできることがSAFの特徴です。学部の事情に合わせたカスタマイズ・プログラムがその一例で、ホームメンバー大学との協力関係に基づいて、多様なニーズに最適なソリューションを提供できるよ

う努めてきました。

近年においては、大学学内の国際関連業務の一部をアウトソースすることは可能だろうか、という声をよく耳にするようになりました。留学に関する学生アドバイジング、キャンパス内での募集広報活動、プログラム開発といった項目で打診が多く、大学でのグローバル化対応に関して喫緊の課題が増してきたという事情がうかがえます。SAFでも学内グローバル化対応に対して経済面において効率的で、内容面でも効果的にコスト・トランスファーを実現できる方策を模索し、提唱してきました。

こうしたアウトソーシングを通じてグローバル化を推進する大学では、その他学内業務への影響を軽減しつつSAFのアドミニストレーション及びサポートを有効活用できることとなります。SAFでの相当する実績では、立教大学異文化コミュニケーション学部での活動が一例に挙げられます。学部事務所にSAFスタッフが常駐してプログラム運営の実施支援を行うモデルとなっています。



学習院大学国際社会科学部開設準備室・神戸伸輔室長と

このたび2016年4月より、新たに学習院大学国際社会科学部にて、大学学部のニーズに合わせたSAFの大学学部協働モデルが開始することになりました。同プログラム支援業務では、1~3名のSAFスタッフが週に1~3回キャンパスを訪問する形態を予定しています。業務の内容は留学に関する学生アドバイジングを中心としたプログラム支援で、学部プログラムの開発運営に携わる大学教職員との密接な協力体制のもと実施されていきます。同学部は定員200名で在籍中の留学を必須とする新設学部。大学の新たなグローバル化への取り組みと、参加学生のグローバル人材に向けた探求とコミュニケーション向上に対し、SAFはその理念に共鳴して協働します。

## 学部理念

学習院大学国際社会科学部 HIP より抜粋

国際社会科学部は、国際的なビジネスで活躍できる人材を育成することを目的としています。そのために、社会科学と語学教育を融合させた教育を行います。グローバルな問題を理解し探究するための社会科学的な基礎学力を育み、また、それを活かしてグローバル環境において活躍できるコミュニケーション能力を育むことを目指します。

## 米国非営利教育財団 SAFスタディ・アプロード・ファウンデーション 概要

【設立年】2000年

【設立趣意】留学を通して国際社会への関心を深め、国際社会や自国で活躍する際に必要な異文化理解力を高めていく機会をアジアの大学生に広く提供していくために設立。

【活動概要】

- SAF 多国間大学ネットワーク (International University Network) を組織し、日本、中国、台湾、

韓国、ブルネイ、マレーシア、カザフスタンを中心としたアジアの学生モビリティ促進のために活動。

- 北米、ヨーロッパ、オセアニアのSAFメンバー大学の協力の下、交換協定に基づかない学生派遣プログラム (Visiting Student Program) を推進。SAFの大学ネットワークに加盟するアジアの大学における単位取得を伴う派遣留学層の拡大をサポート。
- 2000年の設立以降、5,900人以上のアジアの大学生を欧米やオセアニア圏の大学へ派遣。

【提供プログラム】

期間	1学期、1年間、サマーセッション(6月~8月 / 8月~9月)
種類	学部授業履修、語学力強化+学部授業履修(ブリッジ・プログラム)、語学力強化、アカデミック・インターンシップ(学部授業+インターンシップ)

※上記に加え、大学または学部ごとに留学プログラムをカスタマイズすることも可能。(実施例: 慶應義塾大学理工学部、立教大学異文化コミュニケーション学部)

## SAF International Advisory Council 2015開催

2015年11月2日、メンバー大学の年次会合であるSAF International Advisory Council (IAC)を開催しました。今回は主催に昭和女子大学のご協力得て、当日は各メンバー大学を初めとして、ホスト大学や関連国際教育機関から40名を超える参加者にお集まりいただきました。

冒頭、昭和女子大学副学長の金子朝子先生より主催者ご挨拶を賜りました。引き続きSAFの年次活動報告では、2015年度は新たに日本の4大学がメンバーへ加入されたことに触れています。SAF設立以来、プログラム参加学生数はSAF全体累計で5,900名を超え、日本事務局では3,000名の大台を突破して3,093名に上っています。

SAF本部からは、特にリサーチ・プロジェクト留学の開発と実践について報告がありました。従来型の学部履修プログラムを補完し、STEM (Science, Technology, Engineering, Math) 専攻学生の卒業後のマーケットビリティを高めるために、SAFは学生に新たな機会を創出し始めたという話です。ジョンズホプキンス大学を初めとする5つのホスト大学のプログラム例が紹介されました。

基調講演では、まずはメンバー大学であるお茶の水女子大学の渡辺紀子先生から、留学促進と学生指導というテーマでご講演いた



きました。日々の学生とのアドバイジング実態に基づく説得力のある分析と実践例が印象的でした。これら日常の努力が、組織としての学生指導支援システムへ循環していくというご説明へと続いていきました。

もう一つの基調講演では、SAFメンバーであるノッティンガム大学マレーシアキャンパスのDr. クリストファー・ヒルからGlobal University for the Global Studentと題してお話を賜りました。英国大学のアジアキャンパスでのご経験値から、まずはInternational studentの興味深い定義から入られました。アジアでのデータを紹介しながら、グローバル対応できる学生のエンployアビリティについて知見を披露され、グローバルな高等教育機関に求められる要素へとテーマを展開をされていました。

最後に、メンバー大学同士の横のつながりを目的に今回も盛大にレセプションが執り行われ、参加者同士が活発に交流して無事に会を終えることができました。

SAF Professional Development Program 2015は  
イングランド スコットランドで開催

Professional Development Program (PDP)は、メンバー大学を中心に国際業務に携わる教職員の資質向上とSAFネットワークの強化を目的に実施されています。2015年は英国グラスゴーでのEAIE開催に合わせて、9月9日から14日の期間でイングランドとスコットランドの大学を巡るプログラムとなりました。訪問大学はマンチェスター大学、エジンバラ大学、グラスゴー大学/グラスゴー・スクール・オブ・アートといった人気校で占められ、参加者からの関心も高まるツアーです。日本、韓国、中国、台湾、カザフスタンのメンバー大学から教職員の方が集まり、日本からは最大の7大学が参加しました。

プログラムはキャンパスツアーに加えて、各大学の国際プログラムや留学生担当の教職員からのプレゼンテーションとディスカッションで構成されます。最も新しくSAFメンバーとなったマンチェスター大学では、事前準備英語コースやリーダーシッププログラムの

紹介がありました。ツアーの最後にはEAIEの開催地であるグラスゴーへ向かい、グラスゴー大学ではいくつかの学部長からのプログラム紹介と在学生の経験談を交えて会場と活発なコミュニケーションがとられました。グラスゴーは、アール・ヌーヴォー提唱者で建築デザイン分野の巨匠チャールズ・レニー・マッキントッシュゆかりの地。グラスゴー・スクール・オブ・アートでは、その名を冠する校舎を在生が案内してくれました。

ツアーを通じてアジア各国からの参加者同士の交流も深まり、ホスト大学の親切な歓待とあいまって満足度の高いプログラムとなりました。



マンチェスター・ユナイテッド クラブ施設前にて

## SAF 大学ネットワーク(派遣元大学)

## 日本

亜細亜大学 学習院大学国際社会科学部 京都外国語大学  
東洋大学 お茶の水女子大学 昭和女子大学  
南山大学 関西学院大学国際学部 日本女子大学  
同志社大学 日本大学 明治大学  
慶應義塾大学 中央大学 信州大学  
駒澤大学 東京理科大学  
沖縄国際大学 立教大学異文化コミュニケーション学部

## 韓国

Catholic University of Korea  
Chonnam National University  
Chung-Ang University  
Chungbuk National University  
Dankook University  
Hankuk University of Foreign Studies  
Hanyang University  
Hongik University  
Incheon National University  
Inha University  
Kangwon National University  
Kangju National University  
Kookmin University  
Korea University  
Kyungpook National University  
Myongji University  
Pohang University of Science and Technology  
Pusan National University  
Seoul National University  
Seoul Women's University  
Sogang University  
Sookmyung Women's University  
Soongsil University  
Sungkyunkwan University  
University of Seoul  
Yonsei University

## 中国

Beijing Forestry University  
Beijing Institute of Technology  
Beijing International Education Exchange Center  
Beijing Jiaotong University  
Beijing Normal University  
Beijing University of Chemical Technology  
Beijing University of Posts & Telecommunications  
Capital Normal University  
Central China Normal University  
Central University of Finance & Economics  
China Pharmaceutical University  
China University of Mining & Technology  
China University of Mining & Technology, Beijing  
China University of Petroleum  
China University of Political Science & Law  
Chongqing University  
Communications University of China  
Dalian Maritime University  
Dalian University of Technology  
Dongbei University of Finance & Economics  
Donghua University  
East China Normal University  
East China University of Political Science & Law  
East China University of Science & Technology  
Fujian Normal University  
Fuzhou University  
Guangdong University of Foreign Studies  
Hainan University  
Hebei University of Technology  
Huazhong University of Science & Technology  
Hunan University  
Jinan University  
Lanzhou University  
Nanchang Hangkong University  
Nanjing University of Aeronautics & Astronautics  
Nanjing University of Science & Technology  
Nankai University  
North China Electric Power University  
Northeast Normal University  
Northwestern Polytechnical University  
Northeastern University  
Northwestern Polytechnical University  
Ocean University of China  
Office of Pilot Software Engineering Schools (MOE)  
Shaanxi Normal University  
Shandong University  
Shanghai Finance University  
Shanghai Jiaotong University  
Shanghai Maritime University  
Shanghai Normal University  
Shanghai University of Int'l Business & Economics  
Soochow University  
South China University of Technology  
Southeast University  
Southwest University  
Southwestern University of Finance & Economics  
Taiyuan University of Technology  
Tianjin University  
Tongji University  
University of Electrical Science & Technology of China  
University of International Business & Economics  
University of Science & Technology Beijing  
Xiamen University  
Xi'an Jiaotong University  
Xi'an Jiaotong-Liverpool University  
Zhongnan University of Economics & Law

## 台湾

Feng Chia University  
National Chiao Tung University  
National Chung Cheng University  
National Taiwan Normal University  
National Taiwan University  
National Tsing Hua University  
National Yang Ming University  
Tunghai University  
Yuan Ze University

## マレーシア

University of Nottingham - Malaysia

## ブルネイ

Universiti Brunel Darussalam

## カザフスタン

Almaty Management University  
International Academy of Business (IAB)  
KIMEP: The Kazakhstan Institute of Management, Economics and Strategic Research  
Nazarbayev University

(2016年1月現在)

## SAF 本部の新スタッフ紹介

2000年の設立以来SAFは毎年成長を続け、現在では米国(インディアナポリス)、日本(東京)、韓国(ソウル)、中国(北京、上海、広州)、台湾(台中)、ブルネイへと事務所も拡張



**Xin Chen**  
Program Coordinator  
SAF HQ Indianapolis

バージニア大学から高等教育に関する博士号を取得した直後に、SAFへは

2015年3月に加わりました。前職では米国州立大学協会の国際教育室インターンとして、学生たちの夢の実現につながる留学経験を支援してきました。



**Nick Sobanski**  
Program Coordinator  
SAF HQ Indianapolis

コネチカット州に生まれ、同州にあるサクレッド・ハート大学で歴史を専攻し

学位を取得しました。高等教育機関での職歴を持ち、ブラウン大学保健福祉大学院やジョンズホプキンス大学のタレントド青少年センターの職員として勤務していました。

しています。これらを併せて総スタッフ数も60名を超えることとなりました。

2015年度は、2名のプログラム・コーディネーターがSAFに参加しました。

## SAF留学プログラム参加学生からのメッセージ

### ハワイ大学ヒロ校学部授業履修プログラム (2014 Academic Year)

日本女子大学  
文学部 英文学科(留学時3年生)  
栞間 祐香さん

私は小さい頃から留学してみたいという想いがありました。直接のきっかけは、1年生の春にオーストラリアで1ヶ月短期留学したことです。オーストラリアの多人数・多文化な社会を知りました。ただ、1ヶ月というのは、その土地の人々や文化を知るには短かったため、より長く滞在しより深く学びたいと考え、1年間の留学を決意しました。具体的に、ハワイ大学ヒロ校に決めた理由は、①多人数・多文化であること ②私の専攻である言語学が有名であること ③少人数制の授業が受けられること ④ハワイには日系人が多く、私の副専攻である日本語教育が盛んであるため、海外での日本語教育を学びたかったことからです。

ハワイ大学ヒロ校はハワイ島のヒロという町にある大学です。ホノルルがあるオアフ島とは違い、観光客はほとんどおらず、高層ビルが1つもない町でした。都市でしか生活したことのない私にとって、ヒロでの暮らしは楽しかったです。ハワイ島は自然豊かな島で、休日には、亀や熱帯魚が泳ぐ海で泳いだり、山でハイキングしたりと、自然を満喫しました。

私の留学プランは、大学近くのアパートで自炊をするプランでした。初めての一人暮らしだったので、特に食べ物が心配でしたが、ヒロには日系人が多いため、スーパーには日本食がたくさん売っており、自分で日本食を作っていました。それから、アパートが広かったので、よく友達を20人ほど誘い、食べ物は持ち寄りでもホームパーティー



をしていました。

1年の留学中にTESOL(英語教授法)という資格を取得しました。ハワイ大学ヒロ校では通常、この資格の取得に最低1年半以上かかる資格ですが、どうしてもTESOLの勉強がしたかったので、TESOLの教授に会いに行き、直接交渉した結果、留学生として初めてTESOLを取得できるようにしていただきました。

海外の大学というのは、日本の大学に比べ、比較的柔軟に対応してくれるので、受講したいけど、prerequisiteが必要だから受講できないといった場合も、あきらめず、教授に直接もしくはメールで交渉してみると案外受け入れてもらえることも多いです。

実際に私は留学できて本当によかったと思っています。留学して、価値観が変わりましたし、自身の視野や可能性も大きく広がったと確信しています。

## SAF日本事務局 移転のお知らせ

SAF日本事務局は昨年末に移転しました。新宿アイランドタワーへの入居に変わりはなく、階を移動しました。住所では郵便番号とビル階数が変更となります。ご来局や書類等ご送付の際は、ご留意頂きますようお願い申し上げます。

《新住所》〒163-1307 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー7F #1578

## SAF日本事務局 スタッフ紹介



SAF日本事務局  
ディレクター  
ブレット・ラミンジャー



ネットワーク・新規開発  
ディレクター  
須川 健太郎



プログラム運営・学生支援  
マネージャー  
児玉 有子



プログラム運営・学生支援  
マネージャー  
藤本 実千代



SAF 日本事務局  
プロジェクトマネージャー  
松田 晴子



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
細井 美那



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
宮谷 萌



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
渡辺 亜紀子



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
ウェンゲル 和加子



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
黒川あづみ



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
島田 浩平



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
秋田 和子



プログラム運営・学生支援  
コミュニケーションコーディネーター  
プログラムコーディネーター  
渡辺 英美子



立教大学  
異文化コミュニケーション学部  
海外留学研修  
プログラムコーディネーター  
渡辺 梨詠



慶應義塾大学  
短期海外研修プログラム担当  
折目 真由実